

令和4年度芽室町予算案の概要

一般会計予算規模は129億5,800万円

令和4年度の一般会計予算案総額は、129億5,800万円で、令和3年度の当初予算118億7,400万円と比較すると10億8,400万円の増（9.1%増）となりました。令和4年度は、町営水泳プールの建て替え関連で11億3,893万円を計上したことが、大きな要因です。

令和3年度の予算は、国の補正予算等を活用した、「中学校施設維持管理事業－芽室西中学校屋根・外壁改修工事」2億5,829万6千円のほか、「道営土地改良事業参画事業－雄馬別第2地区・芽室西地区・芽室北第2地区・芽室北第3地区道営畑総事業、河北地区道営農用水事業」2億8,542万7千円、「哺育育成施設整備事業」1億6,841万5千円、「し尿収集処理事業」3万1千円及び「新型コロナウイルス対策事業」計11億2,293万2千円を、令和3年度予算に繰越明許費として計上しており、これらをあわせた実質的な予算額は137億910万1千円でありました。

本年度も特殊要素として、国の予算の前倒し等に伴い、「中学校施設維持管理事業－芽室西中学校内部改修工事」6,133万円のほか、「道営土地改良事業参画事業－芽室西地区・芽室北第2地区・芽室北第3地区道営畑総事業、河北地区道営農用水事業」1億5,053万円、「新型コロナウイルス対策ワクチン接種事業」3,356万1千円、「災害復旧事業－町有建物解体工事」3,383万4千円、「地域集会施設維持管理事業－旧雄馬別地域福祉館解体工」609万9千円、「戸籍・住民登録・印鑑登録管理事務－住民記録システム改修委託」358万円及び、「し尿収集処理事業」7万2千円を、本年3月町議会定例会議に繰越明許費として提案予定であり、これらを当初予算に加えますと、令和4年度の一般会計実質予算額は132億4,700万6千円で、昨年度の実質予算額と比較すると3.4%の減であります。

また、全9会計歳出総額では、224億4,959万3千円となり、前年度比5.7%の増であります。（前年度212億2,927万6千円）

一般会計の歳入では、個人町民税のうち、約7割を占める給与所得は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度課税実績の約3%減と見込みました。一方、法人町民税は、一部で業績の回復がみられることから、前年度当初予算額の約17%増と見込みました。固定資産税は、住宅建設の増加などから、前年度当初予算額の約1%増を見込み、結果として町税全体では、前年度当初予算額と比較すると5,481万円の増と見込みました。

一方、地方交付税のうち普通交付税は、個別算定基礎を本町に当てはめると当初予算比では6.3%、1億9,000万円増の32億円と見積もり、財政調整基金を1億1千万円取り崩すことで一般財源を確保することになりました。

歳出では、新型コロナウイルス感染症の影響が続くことを想定し、感染予防対策に配慮した予算としました。そのなかでも、食農教育の推進やキャッシュレス決済の推進など『農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり』、学校現場におけるデジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進や町営水泳プールの建て替えなど『心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり』、町内での病児保育実施や介護施設でのアルバイト奨励制度創設など、『誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり』、農村部タクシー助成や公共サインの整備など『自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり』、地域集会施設の再整備や、「まちなか再生」の取組推進など『住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり』といった、第5期芽室町総合計画前期実施計画の最終年であることを十分踏まえた予算編成としました。

なお、令和4年度予算編成方針においては、「1 第5期芽室町総合計画の実現を目指した予算編成」「2 行政方針を推進する予算編成」「3 ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた予算編成」「4 特別会計・事業会計の自立性・健全性の確立」の4点を基本的な考え方としています。

令和4年度芽室町の主な事業と内容（総合計画施策体系別）

- ※ 「新」・「☆」＝ 今年度からの新規事業
- ※ 「改」・「★」＝ 既存の事務事業であるが、基本的考え方の変更、制度改正、事業内の新規部分などを指す。
- ※ 「継」・「○」＝ 継続する政策的事業。

1 農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり

1-1-1 施策 担い手育成と農業の応援団づくり

継 農業担い手育成支援事業 2, 379千円

○農業の担い手育成・確保のため青年グループなど農業担い手の5区分の自主的活動に対して継続支援する。(380千円)

継 食農理解促進事業 3, 296千円

- めむろ農業小学校
入学の対象者を小学校1年生～6年生とし、種まき、畑の管理、収穫、生産者との交流などの体験を通して農業への理解を深める食育事業を継続する。
(1,734千円)
- 地産地消バスツアー及び食育講演会
町民対象の地産地消バスツアーと食育講演会を、企画力・情報発信力のある民間事業者への業務委託により実施する。(824千円)
- 食農教育
町内の小学生が、農業の理解を深めるため、農業体験等を通して郷土愛を育むとともに、地産地消の大切さを実感できるよう、小学校の授業で食農教育を実施する。(738千円)

1-1-2 施策 農業生産性の向上と経営基盤支援

改 てん菜作付奨励事業 9, 855千円

- ★輪作体系の維持や土づくりにおいて必要不可欠であり、地域経済、他産業への影響が非常に大きい「てん菜」の作付を維持するため、今年度から新たな奨励策を実施し、てん菜作付農家へ支援する。
- 適正な輪作体系作付助成
前年の作付面積から20～30%てん菜を作付けした場合、作付面積に対し10aあたり540円を助成する。(9,720千円)

継 農作物有害鳥獣駆除事業

19,027千円

- 農作物に対する有害鳥獣被害への対策として、設置した「わな」の管理や農村地域の巡回活動等にかかる報償を支給し、パトロール活動や出没情報に対する初動体制の強化を継続する。(5,367千円)
- また、関係機関により設置した有害鳥獣対策協議会が行う、新規狩猟者確保のための免許取得経費や電気柵設置費用の補助を継続する。(922千円)
- 駆除後の残滓処理について、適正処理を図り、駆除活動を促進するため、微生物を活用した分解処理による残滓処理施設をJAの協力を得ながら継続運営する。(6,957千円)

継 環境保全型農業直接支援対策事業

98,072千円

- 慣行レベルと比較して化学肥料・化学合成農薬の5割を低減することに加え、カバークロップの栽培・堆肥施用を行うなど、地球温暖化防止効果の高い取組を行う農業者等に対して支援を行う。
- | | | | |
|---------|---|----------|------------|
| カバークロップ | … | 113,460a | (68,076千円) |
| リビングマルチ | … | 131a | (71千円) |
| 堆肥施用 | … | 59,907a | (26,359千円) |
| 有機農業 | … | 1,816a | (2,542千円) |

1-1-3 施策 農地・土地改良施設等の整備・充実

継 道営土地改良事業参画事業

99,870千円

- 継続4地区
 - ・雄馬別第2地区……畑地かんがい施設、区画整理
 - ・河北地区……営農用水(管路工)
 - ・芽室北第2地区……畑地かんがい施設、区画整理
 - ・芽室北第3地区……畑地かんがい施設、区画整理

1-1-4 施策 地域林業の推進

改 民有林振興事業

24,260千円

- ★森林資源の循環利用を推進するため、道の「豊かな森づくり推進事業」を活用し、民有林伐採後の確実な植林等を支援する。なお今年度から、森林環境譲与税を活用し、補助金を増額する。(21,051千円)

改 林道改良・維持管理事業

59,413千円

- ☆森林施業及び新嵐山展望台利用者等の安全を確保するため、森林環境譲与税を活用

用し、林道新嵐山線の路面修繕を行う。(4,807千円)

1-2-1 施策 地域内循環の推進と商工業の振興

新 元気な商店街づくり支援事業 1,756千円

☆みなくる商店会及び商工会青年部が実施する商店街振興のための事業を支援し、魅力ある商店街づくりや個店づくりにつなげる。(1,700千円)

改 町内消費喚起事業 2,962千円

☆町内での経済循環を目指し、Mカードの普及促進の観点から、町の各種ポイント業をMカードポイントにて付与する。(行政連携ポイント)

- ・じゃがバスの回数券購入
- ・広報誌すまいるモニター謝礼
- ・健康ポイント
- ・介護予防ポイント
- ・住宅リフォーム奨励

継 起業・創業支援事業 381千円

○起業を考えている方の後押しや、起業後の定着を支援するため「起業セミナー」を継続開催する。令和3年度に実施したオンラインでの個別相談について、その機会を拡充する。

継 雇用・労働関係相談対応事業 6,043千円

○町内企業の労働力不足対策及び町内で就職を希望する人を支援するため、企業と求職者のマッチングをする「無料職業紹介所(芽室町ハローワーク)」の運営を委託する。

継 企業支援対策事業 448千円

○立地企業の労働力不足解消を目的に、採用担当者向けのセミナーを開催するとともに、工業団地立地企業が合同説明会等(オンライン含む)へ参加する場合の費用の一部を助成する。また、企業のPRのため、立地企業ガイドブックの作成、高校生向けフィールドスタディ(企業見学)への共催を行なう。

改 新型コロナウイルス対策商工業支援事業 60,229千円

国や道の対策を踏まえた経済対策を実施する。
☆キャッシュレス決済を活用した活性化事業(12,709千円)
☆プレミアム付商品券販売事業補助金(35,637千円)
☆Mカードを活用した町内消費喚起事業(6,080千円)
☆広告宣伝等販売促進費補助金(2,250千円)

☆起業・新分野進出等に対応した小規模事業者持続化補助金(3,000千円)

1-2-2 施策 地域資源を活用した観光の振興

継 ふるさと納税特典贈呈事業 59,205千円
改 寄附金管理基金事務 104,002千円

○芽室町外に住む個人の方からの寄附に対する返礼として本町特産品を贈呈し、芽室町を広く知っていただくためのPRと、まちづくりの財源確保を目的に「ふるさと納税特典贈呈事業」を継続する。

システム手数料ほか事務的経費(10,223千円)

特産品及び送料経費など贈呈経費(41,739千円)

○ふるさと納税額は102,000千円を歳入として計上。

☆企業版ふるさと納税については、町内立地企業からの申し出により、2,000千円を歳入として計上。

改 町観光・特産品普及事業 21,095千円

○食と景観を活用した観光振興策として、「サイクルツーリズム」を推進する。国内の女性を主なターゲット層とし、町内をサイクリングで楽しんだ人がSNS等を通じて芽室町の食や景観を発信することで、芽室町のPRはもとより消費や雇用といった経済効果、他地域との観光連携の推進を目指し、活動団体に補助金を交付する。(2,746千円)

○イベント等用のテントが老朽化していることから、テントを計画的(5年計画の4年目)に購入する。(1,444千円)

○国の地方創生推進交付金を活用し、地域商社などの組織化とツアーやイベントなどの商品化を目指し、野遊びSDGs事業に係る費用を計上する。(9,970千円)

☆物産振興を強化するため、地域おこし協力隊を新たに雇用する。(4,741千円)

改 新嵐山スカイパーク運営支援事業 92,420千円

☆メムロスキー場のゲレンデ整備の効率化を図るため、Cゲレンデに人工降雪機(スティックタイプ)を設置する。(25,960千円)

2 心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり

2-1-1 施策 学校教育の充実

改 児童生徒支援事業 36,804千円

○スクールライフアドバイザーによる児童生徒の問題行動等の未然防止につなげ

る。
 ☆教育支援センター業務を民間委託することにより、不登校児童生徒に対する学習プログラムの充実を図る。
 ○町内小学校全学年の少人数（35人以下）学級を実施し、学力向上を目指すとともに特別支援教育推進のため、計10名の任期付教諭及び教育活動指導助手を配置し教育効果を高める取り組みを推進する。
 ○特別支援学級に在籍する児童生徒の学校生活上の困難を改善するため、計9名の学校支援員を配置し、適切な指導及び必要な支援を継続して行う。
 ○医療的ケアが必要な児童に対し、訪問看護師の派遣を行う。

改 教育研究所運営支援事業 1, 410千円

★教育研究所が行うめむろ未来学の調査・研究に対し支援を行う。調査・研究3年目であり、めむろ未来学の年間指導計画及び単元計画の整理・統合を行う。

改 学校給食センター施設維持管理事業 56, 930千円

★老朽化と緊急度を勘案し計画的に施設の修繕と備品の更新を進める。
 蒸気配管改修工事（9,724千円）
 コンテナ洗浄機購入費（9,673千円）

継 給食材料購入事業 100, 649千円

○芽室町産の食材を中心とした「めむろまるごと給食」に係る上乗せの経費を、町が負担する。また、令和2年度から、食材の購入費を、1人1食当たり小学生・中学生とも22円引き上げたが、食育・食農推進及び子育て世代の負担軽減の観点から、町が負担する。

改 小学校施設維持管理事業 86, 662千円

改 中学校施設維持管理事業 62, 136千円

★教職員の働き方改革の一環として、校務支援システムを導入する。（小学校1,961千円、中学校1,637千円）

継 学校健康診断実施事業（小学校） 9, 043千円

学校健康診断実施事業（中学校） 6, 357千円

○町独自の生活習慣病検査について、受診対象者を拡大するとともに、継続的で一体的な治療・相談体制を構築するため、公立芽室病院を会場として実施する。（小学校1,105千円、中学校1,131千円）

改 要・準要保護児童就学援助事業（小学校） 12, 535千円

要・準要保護児童就学援助事業（中学校） 14, 090千円

★就学困難な児童・生徒の保護者に対し、経済的負担軽減のため就学援助を行って

いるが、新たにオンライン学習通信費を計上する。

継 教材・教具整備事業（小学校） 33,436千円
教材・教具整備事業（中学校） 33,312千円

○児童・生徒一人一人の能力や適性に応じて個別最適化された学びの実現のため、デジタル技術を活用したAIドリルを通年で導入する。（小学校8,039千円、中学校4,618千円）

改 新型コロナウイルス対策学校教育事業 18,254千円

GIGAスクール構想を積極的に推進するとともに、衛生用消耗品を購入する。
☆教師用デジタル教科書購入（2,199千円）
☆衛生用消耗品購入（2,077千円）
☆光回線工事（108千円）
☆大型提示装置購入・設定委託（13,870千円）

2-1-2 施策 社会教育の推進

継 少年教育活動運営事業 3,758千円

○中・高生が将来、社会で活躍できる人材として自分で考え行動する力を身に着けられるよう、学生の立場から地域に積極的に入り地域課題に向き合う探求心を育む場を提供するため、芽室町版ジモト大学を実施する。（391千円）

改 コミュニティ・スクール運営事業 8,475千円

★今年度から新たに「コミュニティ・スクール運営事業」を設定し、コミュニティ・スクールの活動において地域学校協働活動の推進に係る経費を集約。また、事業推進のため、CSコーディネーターを雇用する。

2-2-1 施策 地域文化の振興

継 芸術鑑賞会等開催事業 1,891千円

○「一流を見て聴いて学ぶ」機会の一環として、文化芸術鑑賞会実行委員会と協働により、影絵劇を実施する。

2-2-2 施策 スポーツしやすい環境づくり

継 チャレンジデー実施事業

236千円

○町民の運動習慣の定着を目指し、「チャレンジデー」を3年振りに開催する。

改 ゲートボール普及活動事業

1,795千円

○町内小中学生や地元高校生チームに対し、ゲートボール指導者を派遣し競技の普及定着と競技力向上、並びに指導者養成を行う。なお、高校については、町内だけではなく、十勝管内に拡大する。(78千円)

○全国ジュニアゲートボール大会及び全国社会人ゲートボール大会出場経費の一部を支援する。(200千円)

○芽室町ゲートボール推進協議会が実施する発祥の地のPR活動等に対し、経費の一部を支援する。(300千円)

○全町民を対象とした全町ゲートボール大会を継続して開催する。(99千円)

○高校生のゲートボーラーが芽室町で合宿する場合の経費の一部を支援する。(322千円)

☆ゲートボールを始めたばかりの方が気軽に参加できるよう、新たに「(仮称)初心者交流大会」を開催する。(21千円)

継 発祥の地杯ゲートボール大会開催支援事業

1,719千円

○ゲートボール発祥の地として、芽室町に愛好者が集い、感動を味わえる大会として、全国に発祥の地をPRするとともに、世代間交流を一層推進する。

改 スポーツ人材強化・育成事業

7,252千円

○「一流を見て聴いて学ぶ」機会を多くの町民に創出できるよう、スポーツ人材の強化及び育成を推進する。また、事業実施のため、地域おこし協力隊を雇用する。(4,331千円)

○「北海道十勝スカイアース」との包括連携協定に基づき、健康づくり講座、障がい者スポーツ体験など、様々な事業を実施する。(457千円)

○「北海道日本ハムファイターズ」との3か年のパートナー協定を1年延長して、マスコットによるみらい大志プロジェクト、スポーツアカデミー、応援ツアーなど、幅広い層を対象とした様々な事業展開を行う。(1,743千円)

☆ヴォレアス北海道によるバレーボール教室及び、北海道ハイテクアスリートクラブによる陸上教室を開催する。(362千円)

改 総合体育館維持管理事業

69,119千円

☆町営水泳プールの建て替えに関連し、総合体育館改修に係る基本及び実施設計を行う。(9,790千円)

改 温水プール維持管理事業

1, 296, 291千円

☆老朽化した町営水泳プールの建て替え及び外構工事を行い、誰もが利用しやすい施設を目指す。また、勤労青少年ホームの改修を行い、トレーニング機能の充実を図る。(1,138,930千円)

3 誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり

3-1-1 施策 生涯を通じた健康づくり

継 各種がん検診事業

16, 287千円

○第4期芽室町健康づくり計画に基づき、がん検診を推進する。また、国の総合支援事業を活用し、子宮頸がん検診及び乳がん検診のクーポン券を、対象年齢の町民に配付する。

継 精神保健普及事業

582千円

○思春期や働き盛りの年代のうつを中心とする精神症状を背景とした自殺対策として、インターネットや普及啓発用品の活用により相談窓口の周知を強化すると共に、ゲートキーパーの研修会などを実施する。

改 健康ポイント制度運営事業

224千円

★健康づくりへの積極的な参加を誘導する仕組みとして、日ごろの生活習慣改善の実践や健康教室への参加、健（検）診受診の取り組みをポイント化し、ポイント達成者に商品券、運動施設利用券のほか、今年度からはMカードのポイントを選択できるようにし、生活習慣病の予防を推進する取り組みを強化する。

継 特定健診事業（国民健康保険特別会計）

18, 756千円

○国保特定健診の受診率向上と定期的な健康チェックの習慣化を目指し、国民健康保険加入者の特定健診の自己負担額を1,000円とし、節目年齢の方（40歳と63歳に到達する国保加入者）は無料とする。
○糖尿病の早期発見と重症化予防を目的に特定健診の二次検診を行い、虚血性心疾患や脳血管疾患、糖尿病性腎症による透析患者数の減少を目指す。

継 後期高齢者特定健診事業（後期高齢者医療特別会計）

3, 192千円

○保健事業と介護予防の一体的事業の実施に伴い、後期高齢者特定健診の受診率向上と定期的な健康チェックの習慣化を目指し、特定健診の自己負担額を500円とする。

3-1-2 施策 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展

改 公立芽室病院器械施設整備事業(公立芽室病院事業会計)【備品購入等】 208,785千円

★器械及び備品購入 208,785千円
電子カルテシステム、人工透析関連装置の更新ほか

継 病院事業会計負担金補助及び出資 470,635千円

○公立芽室病院の役割を踏まえ、総務省が示す繰出基準などに基づき、一般会計から繰出しを行う。

3-2-1 施策 安心して生み育てることができる子育て支援

継 子育て世代包括支援センター運営事業 4,510千円

- 妊娠中や子育て中に気軽に相談できる「子育て世代包括支援センターめむろん」を継続する。
- ①妊娠期……母子健康手帳交付時に保健師等が全ての妊婦と面談し、支援プランを作成する。
 - ②出産後……全ての家庭に保健師や保育士が訪問し、親子の健康状態を確認するとともに育児のアドバイスを行う。
 - ③妊娠期～……不安なことや悩みがあるときは常に相談を受け付け、情報提供や関係機関との調整を行う。
- 町内開業助産師に委託し、産後の授乳ケアやおっぱいトラブル等の母乳指導のほか、体調管理や育児に関する様々な相談に対応するアウトリーチ型産後ケア事業を実施し、保健福祉センターにて、デイサービス型の産後ケア事業、産前・産後相談を実施する。
- 妊産婦が心身の状態を整え、育児に専念するため、産前・産後ヘルパー事業を実施する。

改 乳幼児健診・相談事業 7,266千円

- 乳幼児の健全な発育を確認し、家族の不安や悩みを解消するため、健康診査を実施する。
- ☆今年度から視力検査については、帯広盲学校職員によるスクリーニング検査を実施する。

改 妊婦等相談・支援事業 13,574千円

- ★不妊治療に係る経済的負担を軽減するため、助成の対象となる治療を、特定不妊治療だけではなく、人工授精などの一般不妊治療にも拡大する。(500千円)

継 発達支援システム推進事業 430千円

○発達支援を要する児童に対して、早期発見から青年期支援・就労支援まで一貫性と継続性のあるサポートを継続実施し、保護者などへの支援活動を進める。また、地域コーディネーター及び発達心理相談員の継続した配置を行う。

継 子ども医療費給付事業 62,344千円

○経済的負担の軽減と疾病の早期発見・早期治療を目的に、中学生までの通院・入院とも所得制限を設けず無料とする。

継 子どもの居場所づくり推進事業 2,083千円

○貧困を含む様々な困難を抱えている児童が地域で安心して暮らすことができるよう、学習支援や食事の提供などを行い地域の居場所をつくる事業を、委託により実施する。

改 児童発達支援給付事業 35,683千円

○発達支援を要する児童が安心して通所し、適切な療育を受けることができるよう給付を行う。
☆今年度から新たに民間事業所による放課後デイサービス事業が開設予定である。

3-2-2 施策 子育て環境の充実

改 保育事業 626,909千円

☆町内での病児保育事業を、委託により新たに開始する。(4,866千円)
○認可保育所に対する運營業務委託料を計上。(330,404千円)
○家庭的保育所に対する運營業務委託料を計上。(77,000千円)
○認定こども園に対する運營業務委託料を計上。(144,722千円)
○幼稚園に対する運營業務委託料を計上。(16,337千円)
○保育所・幼稚園が行う一時預かり事業に対し補助金を計上。(4,325千円)
○幼児教育無償化に基づき、幼稚園、認可外保育施設等へ給付費を計上。(4,509千円)
○幼児教育無償化に併せて、副食費を町単独で助成する経費を計上。(20,636千円)

継 子どもセンター運営事業 74,850千円

○芽室町子どもセンター「あいりす」、「みらい」に「みなみっ子児童館」を加えた3か所で、18歳未満の児童を対象にした児童館と小学1～3年生の児童を対象とした児童クラブを継続運営する。(みなみっ子児童館は児童館機能のみ)

3-3-2 施策 高齢者福祉の充実

新 地域包括支援センター運営事業（介護保険特別会計） 20,440千円

☆今年度から、地域包括支援センターの運営業務を委託し、民間事業者との協働により、地域全体の福祉の向上を目指す。

改 介護予防教室開催事業（介護保険特別会計） 2,918千円

☆令和3年度から試験的に実施している「まる元^{げん}運動教室」を、通年開催とする。また、高齢者を対象にした体力測定会も委託により継続実施し、自身の身体の状態や認知機能を把握することで、運動意欲の向上につなげ、介護予防に活かしてもらう。

改 支えあいの町づくり人材育成事業（介護保険特別会計） 1,876千円

○将来にわたる介護基盤の安定を目的に、介護職員初任者研修を委託により実施するとともに、中学生・高校生への出前講座を実施し、介護分野の魅力発信を行う。
☆若い世代が介護の仕事に触れる機会を増やすため、新たに介護事業所における学生アルバイトに対し、「学生カイゴチャレンジ奨励金」を交付する。(210千円)

3-3-3 施策 障がい者の自立支援と社会参加の促進

改 障害者就労支援事業 11,698千円

○役場業務において障がい者を雇用し、職業能力や職業適性を向上させることにより一般就労を促進する。(1,073千円)

★障がい者の雇用促進・通勤支援を促進するため、国の地方創生推進交付金を活用し、職域開拓・受入企業支援・マッチング・定着支援などの業務を委託する。その中でも、今年度は、障がい者が継続した業務に就ける作業メニューの切り出しや掘り起しに関する支援を強化する。(10,057千円)

継 生活体験住宅管理運営事業 5,511千円

○障がい者の一人暮らしの実現に向けて、生活体験住宅（一人暮らしお試し住宅）を管理運営する。また、事業推進のため、地域おこし協力隊を雇用する。

4 自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり

4-1-1 施策 災害に強いまちづくりの推進

改 地域防災対策事業

30,447千円

【自助・共助の意識啓発強化】

- 災害対応や各種防災訓練の実務経験を有する職員を継続雇用し、地域における自主防災組織の設立や運営支援を行う。(3,722千円)
- 地域の防災リーダーとして活躍できるよう、地域防災マスターに係る研修会や活動支援を強化する。(68千円)
- 総合防災訓練及び防災講演会を開催する。(70千円)
- 自主防災組織の設立及び育成を目指し、活動に対する助成を行う。(120千円)

【公助として計画の策定・見直し】

- 感染症に配慮した防災対策用資機材及び非常用食料・飲用水などの備蓄を行う。(7,208千円)
- ☆避難所誘導標識の更新を年次計画で行う。(2,360千円)

4-2-2 施策 快適な住環境の整備

継 公営住宅維持管理事業

163,190千円

- 「芽室町公営住宅等長寿命化計画」に基づき西町団地（1棟8戸）の外壁・屋根・建具の長寿命化型改善工事を継続する。(37,939千円)

新 公園建設事業

64,658千円

- ☆西地区の河川沿いの公園として、「ピウカ川親水公園」を新たに整備する。

4-2-3 施策 道路交通環境の整備

継 地域公共交通確保対策事業

10,910千円

- 交通弱者の移動手段を確保するためコミュニティバス（じゃがバス）を継続運行する。(7,876千円)
- 農村部における高齢者の交通確保として、タクシー助成事業を継続する。(2,826千円)

改 新型コロナウイルス対策地域公共交通確保対策事業

2,890千円

- ウィズコロナ・アフターコロナを想定し、MaaSを活用した新たな公共交通の実証事業を、継続して実施する。

継 橋りょう長寿命化事業 77,228千円

- 芽室町橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、芽室大橋長寿命化工事を実施する。(41,000千円)
- 道路法施行令に基づき、5年毎の点検を継続する。(19,000千円)

継 町道・歩道・駐車場等維持管理事業（道路施設維持管理業務の包括委託）
(郊外地分) 63,899千円
(市街地分) 13,442千円

- 道路パトロールと維持修繕について、民間を活用した包括的な委託によりパトロールの的確な実施と異常・危険箇所の早期発見・修繕を目指す。
 - ・道路パトロール 市街地道路・郊外地舗装道路 1週間に全路線1回
郊外地砂利道路 2週間に全路線1回
 - ・異常・危険箇所 軽微な補修・舗装のパッチング等は受託事業者が対応し、日常の手入れで間に合わない損傷部分の補修等は、町の設計・発注手続きにより対応
 - ・委託業務 草刈り作業、支障木剪定作業、標識設置業務、スノーポール設置業務、単価契約可能修繕業務、防雪柵開閉作業

継 町道・歩道・駐車場等維持管理事業（道路照明柱の点検） 10,879千円

- 市街地の道路照明柱について、年次計画に基づき点検を行う。

改 町道・歩道・駐車場等除排雪事業（土木車両管理費） 94,392千円

- ☆除雪車両の安全運転推進のため、ドライブレコーダーを搭載する。(1,749千円)

継 町道・歩道・駐車場等除排雪事業（道路維持費） 42,570千円

- 郊外地の除雪体制を11月から3月まで委託する。

改 郊外地道路新設改良事業 179,868千円

- ★7路線について舗装・改良工事を行う。
延長 2,233m 工事費 164,593千円

改 市街地道路新設改良事業 126,149千円

- ★市街地の車道・歩道あわせて5路線について舗装・改良工事を行う。
延長 628m 事業費 110,176千円

4-3-1 施策 景観の保全とクリーンエネルギーの推進

改 都市景観啓発普及事業

9,038千円

★「芽室町公共サイン整備計画」に基づき、誘導サイン2か所を整備する。(8,998千円)

4-3-2 施策 廃棄物の抑制と適正な処理

継 可燃・不燃等ごみ収集処理事業

126,286千円

○ごみステーションへのごみ排出について、適正な状態を保つことを目的に、ごみ飛散防止ネット及びカラス除けサークルを配布する。(393千円)

4-3-3 施策 上下水道の整備

改 公共下水道整備費（下水道事業会計）

123,684千円

改 集落排水施設整備費（下水道事業会計）

17,384千円

改 個別排水処理施設整備費（下水道事業会計）

37,800千円

○下水道管路の長寿命化を推進するためTVカメラ調査、簡易診断を行うストックマネジメントカメラ調査診断委託（10,000千円）を継続して計上。

★第1汚水中継ポンプ場監視制御設備を更新する。(31,400千円)

☆第2汚水中継ポンプ場高段ポンプを更新する。(66,500千円)

★老朽化に伴い、上美生集落排水施設の旧処理施設解体及び外構工事を行う。(10,000千円)

★芽室町合併処理浄化槽基本計画に基づき、10基分の予算を計上する。(37,800千円)

継 簡易水道配水本管等整備事業（簡易水道特別会計）

70,939千円

継 簡易水道施設整備事業（簡易水道特別会計）

283,213千円

○上美生簡易水道区域の配水管布設換 約1,000mを予定。(53,031千円)

○河北簡易水道の更新として進めている、道営河北地区営農用水事業に係る合併施工負担金を計上。(283,157千円)

継 配水本管整備事業（上水道事業会計）

46,142千円

継 第6期拡張事業（上水道事業会計）

40,724千円

○配水管整備工事は、2路線で総延長約700mを予定。(45,000千円)

○設備整備工事は、浄水場変換器盤更新工事(40,392千円)を計上。

5 住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり

5-1-2 施策 住民自治の実現と地域の活力の維持

改 地域集会施設維持管理事業 299,177千円

★地域集会施設再整備計画に基づき、上伏古地域集会施設及び中伏古地域集会施設の整備を、設計施工にて行う。(194,389千円)

改 人材育成支援事業 1,211千円

☆町民の人材育成の観点から、熱中小学校芽室サテライト校開催に係る費用を計上する。(令和3年度は補正予算対応)

改 シティプロモーション推進事業 5,441千円

☆花火大会など、町民主体による町民の郷土愛醸成のための大規模イベントを実施する場合、企業版ふるさと納税を活用し、経費の一部を助成する。(1,500千円)
○十勝地域と東京都台東区・墨田区との連携交流を進める。(1,026千円)

改 新型コロナウイルス対策シティプロモーション推進事業 6,900千円

ウィズコロナ・アフターコロナへの対応として、シティプロモーションを推進する。
☆効果的なシティプロモーションを進めるため、魅力あふれる地域づくりを目指した地域ブランディングの確立、計画的な推進をするための業務を委託する。(4,000千円)
☆人が集い、憩い、つながり、多様な人の多様な活動が繰り広げられる場として「まちなか再生」を進めるため、「(仮称)まちなか活性化構想」策定に関する業務を委託する。(2,900千円)

改 町民活動支援センター運営事業 7,731千円

☆町民活動の更なる活性化を目指し、町内会活動などのコミュニティ活動支援及び市民ファシリテーター養成業務などを新たに委託する。(7,321千円)

5-2-1 施策 効果的・効率的な行政運営

改 総合計画推進事業

3, 224千円

☆第5期芽室町総合計画後期実施計画策定に係る費用を計上。

継 定住促進事業

17, 994千円

- 町内不動産事業者で構成する「めむろ住宅情報協会」が行う情報提供事業（ホームページや有料広告）に対し支援を継続し、市街地における空地・空家の解消を図るとともに、まちなか居住を推進する。（115千円）
- 「子育て世帯新生活応援奨励制度」
15歳以下の子育て世帯が町の指定する区域に住宅を新築する場合、30万円の商工会商品券を贈呈し、子育て世帯の定住を促進する。（9,000千円）
- 「中古住宅購入世帯新生活応援奨励制度」
15歳以下の子育て世帯が中古住宅を購入する場合、25万円の商工会商品券を贈呈し、子育て世帯の定住を促進する。（1,000千円）
- 移住・定住希望者に柔軟かつ迅速に対応するため、移住・定住促進業務の委託を継続する。（7,829千円）

令和3年度予算を繰越して令和4年度に実施する事業

(令和4年2月18日現在)

繰 道営土地改良事業参画事業（令和3年度補正予算－繰越事業） 150,530千円

★国の補正予算に伴い、道営畑総事業のうち令和4年度以降に予定していた事業について前倒し予算措置し、土地基盤整備の推進を図る。

- ・芽室西地区……………区画整理
- ・芽室北第2地区……………畑地かんがい施設、区画整理
- ・芽室北第3地区……………畑地かんがい施設、区画整理
- ・河北地区……………営農用水（管路工）

繰 中学校施設維持管理事業（令和3年度補正予算－繰越事業） 61,330千円

★国の予算の前倒し及び補正予算に伴い、令和4年度に予定していた工事について実施する。

- ・芽室西中学校校舎・体育館内部改修工事

繰 新型コロナウイルス対策ワクチン接種事業（令和3年度補正予算－繰越事業） 33,561千円

★新型コロナウイルスワクチン追加接種の前倒しや小児接種開始の見通しが立ったことから、令和4年4月から9月までのワクチン接種に必要な経費を補正予算として計上し、繰越を行う。

繰 し尿収集処理事業（令和3年度補正予算－繰越事業） 72千円

★十勝圏複合事務組合が運営する汚泥処理設備更新工事の一部が繰越となったことから、同組合に対する負担金の一部についても繰越を行う。

繰 戸籍・住民登録・印鑑登録管理事務（令和3年度補正予算－繰越事業） 3,580千円

★転出・転入手続きのワンストップ化を図るため、住民記録システムの改修費を計上し、繰越を行う。

繰 地域集会施設維持管理事業（令和3年度補正予算－繰越事業） 6,099千円

★令和3年度の雄馬別地域集会施設整備に伴い、旧雄馬別地域福祉館を解体する費用を計上し、繰越を行う。

繰 災害復旧事業（地域集会施設等）（令和3年度補正予算－繰越事業）

31,968千円

★令和3年12月1日に発生した強風により被害を受けた町有建物を解体する費用を計上し、繰越を行う。